土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	一級河川江の川水系西城川測量設計地質調査業務委託(河川改修・交付金)(荒神田橋)
事業名 または 工事名	
調査目的及び調査対象	道路 橋梁・高架

ボーリング名	Bor.No.2	調査位置	庄原市本町					北緯	34° 51′ 55.688″
発注機関	広島県北部建設事務所			調査期間	令和元年 11月 29日 ～ 令和元年 12月 4日			東経	133° 02′ 1.191″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 242.38m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機 D-1B
総削孔長	11.00m								エンジン NFD-12　ポンプ BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
	241.88	0.50		玉石混り砂質礫		灰			沖積層	φ50mm以下の円礫主体、礫間は細砂～粗砂、細礫が充塡。1.5cmの片状～柱状の玉石混入。河床にφ100cmの玉石分布。
1				砂質泥岩・軟岩		暗灰	rd5		備北層群	第三紀層(備北層群)の泥岩。砂岩層を不規則に挟む。白色の貝化石および石灰岩の薄層を斑状～脈状に挟む。脆い岩片状～40cm柱状コア。GL-1.9～2.5m間は割れ目多く、粘土質礫状コアを挟む。深度に伴い硬質となるが、概ね手で割れる程度。岩盤区分D～CL。
2										
3	238.88	3.50								
4				砂質泥岩・軟岩		暗灰	rd5			15～80cm柱状コア。深度に伴い硬質となるが、金槌にハンマーで澄音発して割れる程度。GL-5.5m付近円盤状コア、開口割れ目あり。GL-9.3～10.2m間は砂分多く粗粒砂岩質でコア肌粗く、脆く割れ易い。岩盤区分CL～CM。
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11	231.38	11.00								

孔内水位／測定年日	標準貫入試験 深度－N値図 (0 10 20 30 40 50)	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
		167	1.15 / 1.24	50 / 90			50 / 90	90	
		150	2.15 / 2.25	50			50 / 100	100	
		300	3.10 / 3.15	50 / 50			50 / 50	50	
		750	4.00 / 4.02	50 / 20			50 / 20	20	
		750	5.00 / 5.02	50 / 20			50 / 20	20	
		750	6.00 / 6.02	50 / 20			50 / 20	20	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					11/29
4.40 / 4.66	乱さない試料	Ⓓ	圧縮 E=660,295kN/m2	4.50 / 4.70	12/2
					12/3
					12/4